

「チェロ協会と世界の仲間たち」開催

イベント目白押しの今秋、新たな取り組みが満載!

日本チェロ協会は「次代を担う若いチェリストの育成」を大切な活動目的の一つとしていますが、その一環として今秋「チェロ協会と世界の仲間たち」と冠した3つのイベントを開催することとなりました。いずれのイベントでも、世界で活躍するチェロ奏者と若手チェリストの皆さんとが共演します。会員の皆さんのご参加・聴講をお待ちしています!

2015年10月10日(土)

「バルビ先生とチェロを学び、音色を楽しむタベ」

サントリーホール・ブルーローズ 18時30分開講



ヘスス・カストロ=バルビ

アメリカ・テキサス州のテキサス・クリスチャン大学教授として教鞭をとる傍ら、世界的に演奏活動・教育活動を行うヘスス・カストロ=バルビ先生によるマスタークラスを開催します。バルビ先生は各国のオーケストラとの共演やマスタークラス開催など、演奏家・教育者として活躍されています。当日はマスタークラスに加えて、スペシャルコンサートを開催します。コンサートでは、本会会員でもある小林幸太郎さんが作曲するチェロ2本とピアノのための作品が世界初演される予定で、バルビ先生のご夫人でピアニストとして世界的に活躍されているグロリア・リン氏、そして会長の堤剛

さんとの共演が予定されています。マスタークラスと併せてご期待ください。

■講師・出演者 Profile

ヘスス・カストロ=バルビ/Jesus Castro-Balbi

フランス系アメリカ人チェロ奏者ヘスス・カストロ=バルビは世界で活躍するチェロ奏者、教師である。ライブツィヒMDR放送交響楽団などとの共演や第一線で活躍する演奏家との共演に加え、ピアニストであり、夫人であるグロリア・リンとデュオを組み、精力的に演奏活動を行う。これまで12枚のCDをリリースしている。テキサス州フォートワースのテキサス・クリスチャン大学音楽部で教鞭をとる傍ら、TCUチェロフェスト、室内楽シリーズを立ち上げ芸術監督を務めている。

2015年10月24日(土)

「シュテファン・コンツと未来のチェロ・マスターたち」

サントリーホール・ブルーローズ 18時30分開講



シュテファン・コンツ ©Fadil Berisha

元ウィーン・フィルのメンバーで、2010年にベルリン・フィルへ移籍したシュテファン・コンツ氏をお招きして、主に小～中学生を対象としたマスタークラスを開催します。コンツ氏には、2人の若きチェリストに対する公開ソロ・マスタークラスの他、20名程度で構成されるチェロ・アンサンブルの

JCS NEWS 第44号 コンテンツ

- 1・2 マスタークラスのご案内
- 3 アウトリーチ活動報告
- 4・5 Cellists' update

- 6 チェロサロン開催報告
- 7 メンバーズ・コンサート情報
- 8 評議委員会開催報告・事務局からのお知らせ

ご指導を頂きます。「ベルリン・フィル12人のチェリストたち」のメンバーでもあるコンツ氏によるアンサンブル指導は、将来のチェリスト達にとって、心に残る経験になることが期待されています。こちらのイベントも会員の皆様は聴講料無料でご参加頂けます。将来のチェリストを応援する意味でも、多くの皆さんの聴講をお待ちしております。

■講師 Profile

シュテファン・コンツ/Stephan Konz

ウィーン・フィルのメンバーであったが、2010年にベルリン・フィルへ移籍した。「ベルリン・フィル12人のチェリストたち」のメンバーでもあり、室内楽奏者としても高い評価を受けている。ヴェルヴィエ祝祭室内管首席奏者。

2015年11月13日(金)

「タマーシュ・ヴァルガのオケスタ・サロン」

サントリーホール・リハーサル室 18時30分開講



タマーシュ・ヴァルガ

ウィーンフィルハーモニー管弦楽団及びウィーン国立歌劇場の首席チェロ奏者を務めるタマーシュ・ヴァルガ氏をお招きして、将来プロ・オーケストラ入団を目指す方を対象としたオーケストラ・スタディ（オケスタ）をサントリーホール・リハーサル室で開催します。このオケスタでは参加者が3グループに分かれ、各グループがそれぞれ異なる曲目の一部を取り上げて、本場ウィーンフィルのチェリストから直々に学びます。このオケスタも会員の皆様の聴講を歓迎致します。なお、リハーサル室で開催するために定員数が限られているため応募者多数の場合は抽選となりますので、予めご了承ください。

■講師 Profile

タマーシュ・ヴァルガ/Tamas Varga

ハンガリー・ブタペスト生まれ。リスト音楽院にてLメゼー、F.ラドシュ、G.クルタークに師事、優秀な成績で卒業。現在、ウィーン・フィルおよびウィーン国立歌劇場管弦楽団の首席チェリスト。ソリスト、室内楽奏者としても活躍。教育者としては、ヨーロッパからアジアに至る世界各地でマスター・クラスを持つ。また、

グスタフ・マーラー・ユーゲント管弦楽団やアッターガウ（オーストリア）のインターナショナル・オーケストラ・インスティテュートで指導にあっていた。

コピーライターが語る、 あのコピーの意図

2015年3月に開催された第5回チェロの日には「世界はチェロで出来ている」という気宇壮大なキャッチコピーが示されました。このコピーを考案したのは、今までもチェロ協会に様々な形でご協力頂いている阿南一徳（あなん・かずのり）さん。多くの方から好評を頂いたこのコピーの裏にある意図を、阿南さんに伺いました。

「世界はチェロで出来ている」。クラシックの音楽会としては、実に変なコピーです。去年は「チェロであったまろう」でした。本質的に、僕は音楽のコピーは苦手なかもしれません。

4年前に「チェロコンGRESS・ジャパン」の裏方をお手伝いして以来、僕はチェロ協会のコピーを書くとき、音楽会を説明するのではなく、企画段階から準備、練習からゲネ、本番を貫いて漂っている「あの楽しい空気」を伝えたいと考えています。重いチェロを運んできて、「やあ久しぶり！」とか言いながら練習を始め、上手く出来たとか出来ないぞとか、「やっぱり〇〇先生の演奏はサイコーだなあ」「いやいや〇〇先生も！」とか、楽しく進む時間の果ての演奏会が、悪い雰囲気になどなるわけがありません。

そんなへんてこコピーですが、今回も皆さんから気に入って戴けたようで、シメシメと思っています。終演後、レセプションのスピーチで、長谷川陽子さんがコピーに触れてくださったときは、裏方冥利に尽きる喜びでした。さらに今回は、それぞれの公演日ごとに「チェロと室内楽の夕べ」的なのないタイトルを付けようと考えて、そこをスタッフたちとやり合いました。

もしかしたら「世界はチェロなんぞで出来てはいないぜ！」と仰る方々があるかもしれません。では何で出来ているのか？愛や夢なら良いですが、憎しみや戦争で出来ているくらいなら、チェロの方が断然いい！音楽を心から楽しめるのは、平和であるからこそ…。

僕は平和とか戦争反対とかとかいう言葉を使わずに、「音楽の素晴らしさ＝平和の素晴らしさ」を訴えることが出来たらいいな、と秘かに思っています。

次回、第6回チェロの日は2016年3月20～21日に予定しています。次回チェロの日のキャッチコピーも、是非お楽しみに！

日本チェロ協会初のアウトリーチ、子ども病院で実施

ロビーと病棟で計5回演奏

日本チェロ協会では、毎年「チェロの日」をはじめ、チェロクリニック、マスタークラスなどのイベントを主催していますが、6月4日（木）初のアウトリーチ活動が実現しました。場所は、先天的な疾患を含む重篤な疾病を持った子どもたちが多く入院している国立成育医療研究センター。司会（事務局）が子どもたちに声をかけながら、チェリスト長谷川陽子さん（日本チェロ協会評議委員）と仲間たち3名（いずれも日本チェロ協会会員）によるコンサートが、ロビーと各病棟で計5回、和やかに行われました。ロビーコンサートには、外来のお子様・ご家族や病院の医師・看護師など100名以上の方々が集まり、4本のチェロの音色に耳を傾けていました。途中、演奏者によるチェロの楽器の説明もあり、「チェロって大きいね」などの感想が聞こえました。病棟では、4ヶ所で、共有フロアに小さなコンサートスペースをつくり、1回20名くらい、比較的元気な学童から、小児がんや精神発達障害などの重症、長期入院者の子どもたちがご家族や看護師に連れ添われて、聴いていました。みなさん目を輝かせて、約20分の演奏を興味深く聴いている様子でした。「きらきら星」に合わせて手をくるくるさせたり、「アナと雪の女王」が始まると「きゃっ！」と声を上げ喜ぶ姿も見られました。

病院ボランティアスタッフの協力

今回病院でのコンサートが無事進行したのは、病院のボランティアスタッフの多大なご協力のおかげでした。エプロン姿の数名のスタッフが、控室の手配から会場設営、病棟の移動などをてきぱきとリードしてくださいました。私たち協会メンバーも彼女たちの指示のもと、特に病棟は、最少人数で譜面台や椅子を運んだり、チェロケースを置いたりしまし

た。そのスタッフの方から「こどもたちは正直でつまらないとすぐ飽きてしまうものだけど、今日は途中で席を立つお子さんがいなかったわね。」という言葉が聞くことができました。病院にボランティア事務局があり、アウトリーチなどの受け入れシステムができていることに感銘を受けました。

今後の活動の第一歩として

人と人とのつながりで実現し、子どもたちにチェロで寄り添う第1回アウトリーチを終えた充実感と、一方で「あの子どもたちはずっと病院で過ごすのだな」と現実にも思いを馳せ、移動ベッドに横たわって聴いてくれた子どもも明るい気持ちになれたのではないかなと信じ、国立成育医療研究センターを後にしました。企画段階から参加、出演いただいた長谷川陽子さんは「私たちの音楽を伝えたいという気持ちは、単なる身内受けではなく、子どもたちにきちんと届けられたのではないかな・・・特に病棟での子供たちの眼差しを思い出してそう実感しています。これは完結ではなく、これからも続く活動の第一歩であることを心から望んでいます。」とメールを寄せてくださいました。決して、押し付けや自己満足にならず、必要とされる場所に向いてともに分かち合う、そんなアウトリーチ活動を今後も続けていきたいと思えます。

曲目：ジョップリン/The Easy Winners、大きな古時計、
「アナと雪の女王」からLet It Go、キラキラ星の主題による変奏曲、クレンゲル/アンブロンブチュ
出演者：長谷川陽子・石島栄一・藤井直・芳山朋史(Vc)、
佃香菜子(司会)
スタッフ：児玉真・杉野貴代子・溝口雅子・飯田芳恵・
高崎森久・渡邊亮



提供：国立成育医療研究センター

中島 颯 (R-085)

Akira NAKAJIMA

1. 近況を教えてください

夏はサマースクールや講習会、合宿で飛び回っておりますが、またレッスンに一喜一憂する日々となります。



2. 改めて、チェロを始めたきっかけを教えてください

生まれ故郷の家の近くに音楽幼稚園がありその卒業生でオーケストラを、との話があり妹がヴァイオリンをやっていた関係で、「チェロがないからどうだ」との誘いで仕方なく始めました。

3. 中島先生が一番リラックス出来るのは、どんなときですか？

月に一度生徒が一同に集まるグループレッスンがあります。やはり子どもたちと一緒にいる時が一番です。

4. チェロ以外に好きなことはありますか？

若いときにはスキーに夢中でした。元来多趣味ですが、時間があれば陶芸に取り組みたいですね。

5. 才能教育でチェロを教えていらっしゃるようですが、子ども達に対して普段感じられていること、またエピソード等ありましたらお話し頂けますか。

子どもたちは小さければ小さいほどピュアです。その反応は自分自身の行動、内面を鏡で見るといえます。「どの子どもも育つ、先生次第」です。スズキ・メソッドは聞くことを大切にしています。世界に広がる生徒のために共通の教科書、音

源をと苦慮していた時期、カナダのエドモントンで初めて現会長、堤剛先生とめぐり合いました。

チェロはもちろん当たり前のことですが、先生の高いお人柄に接し、世界の子どもたちに模範となる演奏をぜひ先生にと考えました。教科書のCD録音をお願いしたところ快諾をいただき実現し、今は私の生徒も含め、子どもたちは「CDの先生」として毎日堤先生からレッスンを受けています。

6. 今後のチェロ協会についてお伺いします。どのような活動に力を入れていきたいとお考えですか？

楽器としてのチェロをとはおこがましいので、幼児から大人まで世代を超えて音楽、チェロを通してその持つ力と魅力を浸透させる活動をと願っています。

【お勧めコンサート情報】

ミクローシュ・ペレーニ

J.S.バッハ 無伴奏チェロ組曲全曲演奏会

日時/2015年12月4日(金)開演:19:00、6日(日)14:00開演

チェロ協会のホームページで12月4日、6日にミクローシュ・ペレーニのコンサートを知りました。初めて聞いたときの驚きと感動を覚えています。

またチェロアンサンブルの魅力は自らの経験も踏まえ最高ですね。「チェロが大好き」という心が伝わってきます。最近チェロアンサンブルのコンサートが数多く開催されるようになりました。いろいろ聞きにいきたくと思っています。

林 裕 (R-225)

Yutaka HAYASHI

1. 近況や最近の活動について教えてください

実は突発性難聴を患ってしまい、半年間演奏活動を休んでおりました。左の耳の聴力が全く聞こえない状態でしたので、入院や通院に専念してきました。



また、収録曲全てポッパー作品のCD「Werke von Popper」をリリース致しました。妻に送った「献呈」など、技巧的な印象の強いポッパーの知られざる一面もお楽しみ頂けると思います。彼の使用していた椅子や、ノスタルジックな装丁もご覧下さい。

2. チェロを始めたきっかけを教えてください

父 林良一から手ほどきを受けました。名古屋青少年交響楽団に小学生の時から参加していましたが、中学の時にロストロポーヴィチの【ドヴォン】を聴いてチェリストになる決心をしました。

3. 関西でチェリストのネットワークなどがありますか？

チェロを中心としたゴージュの会は、プロのチェリストを招いてワンポイントレッスンと発表会を行っています。

京都では上村さん、河野さん、藤森さん、上森さんと2~5重奏を奏でる【チェロアンサンブルの愉しみ】を10年以上毎年行っています。

4. 今後どのようなチェリストとして活躍していきたいか教えてください

室内楽、オーケストラ、ソリストなど、チェリストが演奏する形態はとも多いですが、どの編成もとても魅力的で今まで通り行っていきたいです。

それに加えて、三木敬之先生からG.カサドの貴重な楽譜を頂いた事をきっかけに、チェリストが書いた作品の収集に明け暮れています。チェリストの作品は技巧的に華やかさがあり伸びやかな歌心もあります。既に400曲以上集まっています。一生かけて演奏や録音をしていきたいと思っています。

また、若いチェリスト達にも過去のチェリストが書き残してくれた遺産を探す事や表現する事を伝えたいので、Cellist=Composer・Competitionというコンクールも開催しています。

【演奏会情報】

林 裕チェロリサイタル【森の中で】

日時・場所/2015年10月29日(木) 名古屋 ヒトミホール

11月 2日(月) 大阪ムラマツリサイタルホール

出演/林 裕(Vc)、佐竹裕介(Pf)

曲目/F.ネルダ：ロマンス／バラード／ウンゲーリッシュ

D.ポッパー：プレリュードとガヴォット 作品27、

組曲【森の中で】作品50、他

料金/一般¥3500 当日¥4000 学生¥2000

問/ユーモレスク 080-3773-4366

ポッパーの組曲【森の中で】を副題にし、没後100年のF.ネルダを中心に、チェリスト作品の魅力をお楽しみ下さい。

高橋 麻理子 (R-421)

Mariko TAKAHASHI

1. 近況を教えてください

日本では今年で5年目になりましたが文化庁主催の企画で、ドイツ、カナダ、広島から集まったメンバーと毎年一度、ピアノトリオで各地の小学校を周りアウトリーチ活動を続けています。昨年からは、埋もれた様々な曲たちに焦点を当てるチェロデュオの演奏会も始めました。

またバロック音楽の魅力に惹かれ、最近フランスのバロックアンサンブルなどでも活動しています。とても奥深い世界で勉強のしがいがあります。

2. 成育医療研究センターで演奏されていたようですが、どのようなきっかけで演奏されたのですか？

私の息子が1歳半と4歳半の時に二度、成育で手術を受けました。入院中不安が色々とあり、精神的に疲れてしまっていたのですが、先生方の親身な診察やスタッフの方々の明るい対応にとっても救われました。その時の長期入院の付き添いの親御さん達の姿がとても目に焼き付いています。何か恩返しをしたいなあとずーっと考えていて、ようやく昨年ボランティアでのコンサートが実現。子供達、親御さん達、先生方やスタッフの皆さんにも、とても喜んでいただけて本当に嬉しかったです。

3. ドイツの音楽活動においてエピソードなどありましたら教えてください。



一口にドイツといっても、土地によって環境がかなり様々なので、私が感じたことなのですが、。例えば、日本だとオーケストラの本番前に有るGPは、ドイツでは、前日に行きます。本番当日は各自のウォーミングアップのみで本番に臨むので、最初は緊張しました。また、日本ではコンサートに行くに必ず山程貰うチラシですが、ドイツでは全くそういうことはありません。でも、不思議なことにコンサートには、結構お客様がいっぱいいます。ドイツは日本ほど娯楽の多様性が無いので、自然とクラシックコンサートへ行こうという人が多いのかなとも思います。

4. 今後の展望をお聞かせください。

音楽のことだけではなく、色々な事について考え、興味を持ち続けていきたい。歳を取っても弾き続けていきたい。10年前には全く出てこなかった答えだと思います。

[演奏会情報]

DUOコンサート

日時/2016年1月16日(土) 14:00開演

場所/南麻布セントレホール

出演/高橋麻理子 (Vc)、堀雅貴 (Mand)

料金/¥3,500 (全席自由)

問/アルペンミュージックオフィス 03-5739-1663

同じイタリアが起源のチェロとマンドリン、それぞれの楽器を通してバロックから現代の作品まで、新たな魅力に迫ります！

新倉 瞳 (R-315)

Hitomi NIIKURA

1. 近況や最近の活動を教えてください。

スイスでの長年の学生生活について終止符を打ち、スイスでの教員資格を得ました。カメラータ・チューリッヒのソロ首席チェリストに就任しましたが、スイスを拠点にし、今後は日本での活動、指導にも力を入れて行きたいと思っています。

また、クラシック音楽と深く繋がっているクレズマー音楽(ユダヤの音楽)にも関心を持ち、即興・イディッシュ語で歌う歌を学んでいます。同時に、バロック音楽にも力を入れようと、最近セカンドチェロをバロック仕様にして本格的に自分のレパートリーに取り入れ始めました。

2. チェロを始めたきっかけを教えてください。

母がピアニストですので、母のお腹の中にいた頃から音楽とは繋がっていました。母は私を当時住んで居たドイツのデュッセルドルフにて沢山演奏会に連れて行き、ハーブやフルートなど女性が構えて美しい楽器をあわよくば習わせたかったそうなのですが…開脚楽器を選んでしまいました。オーケストラや室内楽で、超花形楽器ではなくても影なる支配者的存在のチェロにとっても惹かれました。

3. バーゼルの音楽院で学ばれていた時のエピソード等ありましたら教えてください。



5年師事したデメンガ先生は、バロック音楽から現代音楽までフレキシブルに演奏される方で、型にはまらず自由に、且つ細かいテクニックも沢山学びました。とても自分自身が開放されたように思います。日本で師事していた堤剛先生から頂いていた「ご自分でどう思われますか?」というお言葉、毛利伯郎先生から「出来上がっている道を歩くのではなく、自分で歩いた所が自分の道になるんだよ」というお言葉が、バーゼルに来て自由な気持ちになってから改めて大切だと感じ、よく分かるようになりました。

4. 今後どのようなチェリストとして活躍していきたいか教えてください。

自分にしか出来ないことをしてクラシック界と世に貢献したいです。バロック音楽、クレズマー音楽、スイスのこの土地だから出会い気づけた音楽の魅力や素晴らしさを日本に持ち運ぶ役割が出来たらと思います。

[演奏会情報]

新倉瞳チェロリサイタル

日時/2015年12月11日(金) 19:00開演

場所/浜離宮朝日ホール 出演/新倉瞳 (Vc)、佐藤卓史 (Pf)

料金/S席¥4500 A席¥3500 問/アスペン 03-5467-0081

スイスのカメラータ・チューリッヒのソロ首席チェリストに就任し、Academia Internacional Verão Clássico 2015 チェロ部門にて第一位を獲得した新倉瞳のリサイタルです。

チェロサロン開催報告

2015年5月10日(日)、サントリーホール・リハーサル室にてチェロサロンを開催しました。講師には新たに日本チェロ協会の評議委員に就任いただいた菊地知也先生をお迎えしました。今年2月に開催した第5回チェロの日イベントでのチェロオーケストラのコンサートマスターとしてその温かい音色とお人柄に触れた参加メンバーも多かったために最初から打ち解けた雰囲気です。今回のテーマは『楽器を豊かに響かせよう!』。

クリニック受講の一人目、山岡陽子さんは素敵な小品「グラズノフ 吟遊詩人の歌」を気持ちの込められた丁寧な演奏。ご本人には、受講レポートをまとめていただきましたのでご覧ください。クリニック受講の二人目はベテラン谷口仁宏さん。有名なラロのチェロ協奏曲より第一楽章を取り上げられました。協奏曲を弾く上での留意点やフィンガリング・ボーイングのコツ、ポジション移動の際の左手の動かし方など菊地先生から丁寧なアドバイスがありました。曲作りの上で力強さとロマンティックさ、メロディックとリズムの対比を考えるといいなどというコメントも大いに参考になりました。

チェロサロン後半は全体アンサンブル練習。今回取り上げた曲は“ベルリンフィル12人のチェリストたち”の演奏で広く知られるようになったフランクの組曲ニ長調。バロック風の音のイメージ作りとは。音の繋がりを意識しつつ音の粒をはっきりと。メロディー部分でもリズム感、ビート感を持って。16分音符は走りやすいので急がないよう意識すること。4つのパートがそれぞれの動きをしつつ集合するところ、縦を合わせたいところはとくにアンサンブルに気を配ること。ジグの演奏は体重が重たいような音に聞こえる。どうやったら軽い感じの演奏になるか工夫しよう等々。この曲はすでに弾き慣れている参加者にとっても、新たな発見があったようです。

今回の参加者は講師1名、クリニック・アンサンブル27名、聴講8名(会員:29名・非会員:6名)、スタッフ7名でした。

チェロクリニックを受講して

チェロを始めて10年近く、チェロ協会の催しに参加するうち仲間が増えてアンサンブルも楽しむ一方、日々の練習の中で果たして自分の音は聞いてくださる方に届いているのだろうか、チェロらしい響きが奏でられているのだろうか?と悩む日々でした。この度、菊地先生のクリニックを受ける機会を頂き、あらためて自分の弾き方を見直すきっかけになりました。短いながら情感あふれる小品、グラズノフの「吟遊詩人の歌」を弾かせて頂きましたが、クリニックのポイントは体の使い方など基本的事項が中心となりました。楽器と自分の体をまっすぐに平行に保つこと。A線を弾く時とC線を弾く時、楽器を回している自分の癖に、ご指摘頂くまで無自覚でした。また弾きながら上体が浮いてしまわないよう体の重心を下げるようにとのご指導に自分の音が時々上滑りになってしまうことの原因が分かった気が致しました。さらに左手がハイポジションに移行する際、左肩を前に出していることもご指摘頂き、上体を必要以上に動かさないために体幹を鍛えることの重要性も教えて頂きました。

聴講されているみなさんが、とても熱心に耳を傾けメモを取られていらっしゃるの印象的で、何人かの方から菊地先生のご指導はとても実用的でためになったとの感想を伺い、クリニックを受講することができてとても光栄に思いました。懇親会でも今日のポイントを改善すればもっと自由にいろいろな曲を弾くことができるようになりますよと菊地先生より励ましのお言葉を頂戴しました。今回の機会を上達へのモチベーションにしたいと思います。菊地先生、スタッフの皆様、聴講の皆様、ありがとうございました。

R-346 山岡陽子



メンバーズ



岩田 暢子さん
(R-268)

高校の部活動でチェロに初めて出会って以来、チェロという楽器に魅せられました。就職と同時に、パタンとチェロケースの蓋を閉めて、10年以上仕事に専念しました。ある日出勤の時、通勤電車の中で高校の部活動の大先輩に偶然出会い、同じ高校出身

のOBのオーケストラがあるから出演しないかと誘われました。仕事は不規則なものでいつ休日中呼び出されるかもわからないので、楽器を弾く自信がなく、半年ぐらいお誘いを無視していましたが、半年後やおらチェロを再び弾きはじめ、以来、楽器の蓋は閉まらなくなりました。チェロを弾いていないと心身が不調をきたす「チェロ病」が私の持病です。こんど、学生の頃から弾きたくても弾く機会がなかった幻想交響曲を演奏するためのオーケストラができちゃった(!)ので、演奏会をします。9月5日土曜日、兵庫県立芸術文化センターKOBELCO大ホールにて、14時開演です。ぜひ足をお運びくださいませ。



Concert Information

会員の出演・主催する演奏会などをご案内いたします



N響メンバーによる12人のチェロ・アンサンブル

日時/2015年9月13日(日)15:00開演
会場/藤沢市民会館 大ホール
出演/向山佳絵子、藤森亮一(Vc)ほか
問合せ/茅ヶ崎市楽友協会 0467-82-3744
<http://www.chigasaki-psc.org/>

都民交響楽団 第120回定期演奏会

日時/2015年9月20日(日)13:30開演
会場/すみだトリフォニーホール
出演/末廣誠(Cond)、都民交響楽団
問合せ/E-mail: tmk@big.or.jp

第16回若い芽のコンサート

日時/2015年9月27日(日)14:00開演
会場/豊田市コンサートホール
問合せ/0565-31-7616(永田)

ラ・カアルティーナ in Bunkyo 2015 新たなる境地へ クラシックから伝説のロックまで

日時/2015年10月9日(金)19:00開演
会場/文京シビック 小ホール
出演/藤森亮一、藤村俊介、銅銀久弥、桑田歩(Vc)
問合せ/シビックチケット 03-5803-1111

タマーシュ・ヴァルガ(チェロ)リサイタル

日時/2015年11月5日(木)19:00開演
会場/大阪倶楽部 4階ホール
出演/タマーシュ・ヴァルガ(Vc)、佐藤美香(Pf)
問合せ/カメラータ・トウキョウ 03-5790-5560
<http://www.camerata.co.jp/>

～スラブの旋律～ 大友直人&新鋭チェリスト伊藤悠貴

日時/2015年11月7日(土)14:00開演
会場/品川きゅりあん8F 大ホール
出演/伊藤悠貴(Vc)、大友直人(Cond)、東京交響楽団
問合せ/チケットセンターCURIA 03-5479-4140

フィルハーモニア・エテルナ 創立20周年記念演奏会

日時/2015年11月7日(土)18:00開演
会場/ミュゼザ川崎シンフォニーホール
出演/十東尚宏(Cond)
問合せ/フィルハーモニア・エナルテ 資料請求
repin@phil-aeterna.org

タマーシュ・ヴァルガと日本の仲間たち 4本のチェロによる

日時/2015年11月12日(木)19:00開演
会場/Hakuju Hall(東京都渋谷区)
出演/タマーシュ・ヴァルガ、唐沢安岐奈、辻本玲、藤森亮一(Vc)
問合せ/カメラータ・トウキョウ 03-5790-5560
<http://www.camerata.co.jp/>

山崎伸子 チェロ・リサイタル with 加藤洋之(ピアノ)

日時/2015年11月20日(金)19:00開演
会場/浜離宮朝日ホール
出演/山崎伸子(Vc)、加藤洋之(Pf)
問合せ/朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990

ミクローシュ・ペレーニ

J.S.バッハ 無伴奏チェロ組曲全曲演奏会

日時/2015年12月4日(金)19:00開演
2015年12月6日(日)14:00開演
会場/浜離宮朝日ホール
出演/ミクローシュ・ペレーニ
問合せ/朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990

評議委員会 開催報告

2015年5月30日(土)に評議委員会が開催され、以下の内容で承認されましたのでご報告いたします。

開催日時：2015年5月30日(土)11:00～12:30

会場：サントリーホール・M2会議室

出席者：12名(敬称略)

(会長)堤剛 (副会長)堀了介 (書記)山崎伸子
(評議委員)児玉真、石島栄一、尾崎勝吉
(監事)藤井直、芳山朋史
(事務局)佃香菜子、渡邊亮、高崎森久、飯田芳憲

議題

1. 2014年度活動内容・決算
2. 2015年度活動計画・予算
3. 企画・運営計画
 - 1) アウトリーチ活動
 - 2) マスタークラス／特別演奏会
 - 3) ジュニア向け特別プログラム
 - 4) オーケストラスタディー
4. 意見交換、他

◇2014年度活動内容

- ・評議委員会 2回開催(2014年4月27日、2015年3月1日)
- ・会報発行 2回発行(第42号:8月29日、第43号:4月17日)
- ・HPリニューアルオープン(2014年10月14日)
コンサート情報:34件(前年比+10件)
ニュース:4件
チェリスト紹介:18名
- ・チェロサロン開催(11月16日) 講師:長谷川陽子先生
参加者:36名(会員:29名、非会員:7名、スタッフ:3名)
- ・マスタークラス開催(4月10日)
講師:ルイス・クラレット先生
受講生:黒川実咲さん、笹沼樹さん、藤原秀章さん
入場者数:59名(会員:35名、非会員:16名、その他:8名)
- ・第5回チェロの日開催(2月28日、3月1日)
2/28 出演者:松波恵子さん、川村文雄さん、遠藤真理さん、川久保賜紀さん、長谷川陽子さん、須関裕子さん
来場者数:303名
3/1 出演者:チェリストの集い参加者、堤剛さん、山崎伸子さん、菊地知也さん、河野文昭さん、長谷川陽子さん、櫃本瑠音さん、藤原秀章さん、森田啓祐さん、石崎美雨さん
来場者数:198名
- ・会員数:269名
(正会員:202名、学生会員:63名、賛助会員:4名)
新規入会者:18名(正会員:9名、学生会員:9名)
退会者:12名

◇2015年度活動計画

- ・評議委員会開催 2回(5月30日、秋予定)
- ・会報発行 2～3回発行予定(44号:8月末、45号:年度末予定)
- ・チェロサロン開催 1～2回
- ・マスタークラス 1～2回
- ・アウトリーチ活動 1～2回
- ・第6回チェロの日 2016年3月20日～3月21日

※予算につきましては、別紙をご参照ください。



■2015年度会員更新のお願い

4月にご案内差し上げましたが、会員の更新手続きがまだの方は速やかに会費の納入をお願いいたします。

■ご住所・メールアドレス変更についてのお願い

事務局からお送りするお便り・メールが住所・宛先不明で戻って来てしまうことが度々ございます。ご住所・メールアドレスを変更された場合は必ず事務局にご一報下さい。

■HP チェリストをご紹介しています

現在、ホームページではチェリストを紹介するページを設けております。プロ、アマチュアに関わらずチェロの活動についてご紹介頂けます。メール、FAXで承っておりますので、皆様のご投稿をお待ちしております。

ご提供内容:①お名前 ②所属先 ③主な活動地域 ④コメント

■会報誌記者ボランティア大募集

今秋開催のマスタークラス(10/10、10/24)のレポーターを募集いたします。経験は問いません。当日聴講可能でレポートをして下さる方、事務局までご連絡ください。

編集後記

今年の夏は異例なまでの猛暑続きでした。これからの芸術の秋に向けて皆さん、それぞれに活動を計画されておられることでしょう。日本チェロ協会では例年以上に盛り沢山のイベントを計画しています。皆様のご参加をよろしく願います。

藤井直

日本チェロ協会会報 (JCS NEWS) 第44号 2015年8月31日発行

発行: 日本チェロ協会 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル22階 私書箱509号
電話 03-3505-1991 FAX 03-3582-1310 E-mail office@cello.gr.jp

発行人: 堤剛 編集: 日本チェロ協会事務局 編集協力: 三和プリンティング(株)